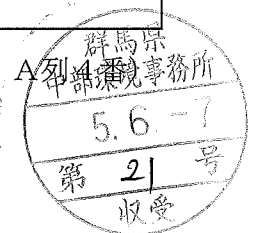


(第1面)

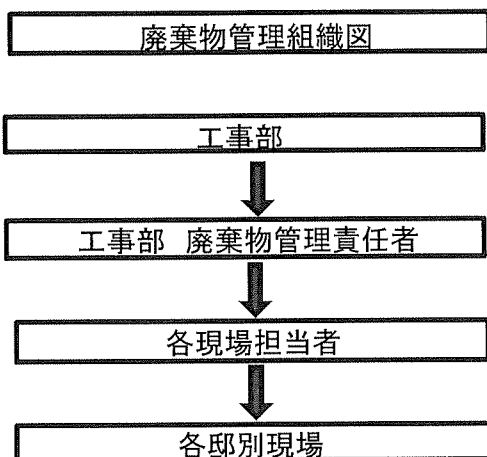
<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年6月7日</p> <p>群馬県知事 へ</p> <p>提出者 〒371-0037 住 所 前橋市上小出町一丁目6番地2 氏 名 株式会社 一条工務店群馬 代表取締役 藤生 武久 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0270-63-6411</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社 一条工務店群馬 現場
事業場の所在地	群馬県内一円（前橋市・高崎市除く）
計画期間	令和5(2023)年4月1日から令和6(2024)年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業（D06 総合工事業）
②事業の規模	11,960,268千円（令和4年度元請完成工事高）
③従業員数	171名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	各邸別現場排出 → 産業廃棄物業者へ直接処理委託 → 再生利用業者へ処理委託

(日本工業規格



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排 出 量	272.6 t	77.4 t
	(これまでに実施した取組) 選別・破碎、発注量の見直し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排 出 量	250 t	72 t
	(今後実施する予定の取組) 発注量の見直し		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 石膏ボード、ダンボールを再生するための現場管理を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記事項の継続。

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	紙くず	木くず
275.5 t	193.6 t	5.7 t	355.8 t

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	紙くず	木くず
255 t	185 t	5.1 t	330 t

繊維くず			
0 t	t	t	t

繊維くず			
0.5 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も実施の予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組) 特に実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組) 今後も実施の予定はない。			

t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も実施の予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	272.6 t	77.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用者への処理委託量	245.3 t	77.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 電子マニフェストを利用し、処理状況の管理を向上させる。		

t	t	t	t

t	t	t	t

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	紙くず	木くず
275.5 t	193.6 t	5.7 t	355.8 t
t	t	t	t
247.9 t	193.6 t	5.7 t	355.8 t
t	t	t	t
t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t

絨維くず			
0 t	t	t	t
t	t	t	t
0 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	250 t	72 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	225 t	72 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 建築資材の現場搬入量を適正にし、現場での廃棄量を少なくしていく。			
※事務処理欄			

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	紙くず	木くず
255 t	185 t	5.1 t	330 t
t	t	t	t
230 t	185 t	5.1 t	330 t
t	t	t	t
t	t	t	t

繊維くず			
0.5 t	t	t	t
t	t	t	t
0.5 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記 11,153,314千円(令和3年度元請完成工事高)
令第180名
施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。